



このたびの市長選挙におきまして、引き続き2期目の市政を担わせていただくことになりました。改めて責任の重大さを痛感し、身の引き締まる思いです。

振り返ると、宇和島市長就任後ほどなくして平成30年7月豪雨が防災し、さらには現在も全国にまん延している新型コロナウイルスの影響が本市にもおよび、市民生活や経済活動全般においてこれまでに経験したことのない事態に直面しています。

一方で、少子高齢化の進行により人口減少も加速しており「将来に渡るまちの担い手たちをいかに育成していくか」が大きな問題であると認識しています。今どんなに素晴らしいまちであったとしてもそれを引き継ぐ人がいなければそのまちは衰退を避けることはできないと考えます。

このような中で私の2期目の課題は、新型コロナウイルス感染症により厳しい状況に追い込まれている皆さんの生活や産業に対して迅速に対応すること、そして豪雨災害からの復旧・復興を着実にやり遂げること、さらにはこの地域の子どもたちを含めた未来の担い手候補の皆さん



んに「選ばれるまち」として、まちの魅力を高めることだと考えています。

これまで「声を力に」を念頭に行動してきた原点を忘れることなく、新たなデジタル技術などのイノベーションに対応し、このまちの未来を皆さんと「共に創って」いく所存であります。

結びに、一歩でも前へ歩を進め、前進し続けることで、必ずまちは変わることができると、信じています。かつての明るい笑い声の響き渡るまちを目指して、皆さんの声を力に変えて、私は泥臭く挑戦を続けます。宇和島を共に創りましょう。

■訂正とお詫び：広報うわじま 10月号 P11 に誤りがありましたので訂正してお詫びします。

▶ STU48 兵頭 葵さんの写真が反転していました。市ホームページなどで公開しているものは正しい写真へ訂正しています。